

ほんべつ

# 議会だより

No.51

平成21年12月1日発行



## 心を一つにして

11月14日 勇足小学校学習発表会

# 第3回定例会

## 平成21年度一般会計他7会計の補正予算を可決

平成21年第3回定例会は、10月5日に開会し、一般質問のほか教育委員、副町長の選任などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

### 一般会計補正

#### つつじの園補助金

**問** 道からの、地域活動生活支援センター等補助金が減額となったことによる、利用者負担への影響は。

**答** 道補助金は半減されましたが、利用者負担金は現在の月額5,000円から変更ありません。

### 介護保険事業特別会計補正

#### 生活・介護支援サポーター養成事業

**問** 社会福祉協議会へ委託する、安心生活創造事業（一人暮らしの高齢者等の生活支援）の訪問員を養成する事業に対する質疑。

**答** 3年間の事業とされているが、その後地域へ移行することに不安があるが。

### 答

3年間社協に委託し、地域の方にも訪問員となっていたのですが、その後の活動もできるだけ負担のかからないよう検討していきます。また、財源についても無理のないよう進めたいと思います。



つまようじ入れの作成中（つつじの園）

## 平成21年度 各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容	
一般会計	(4億3,580万2千円) 64億4,328万1千円	害虫駆除事業 子育て応援特別手当交付事業 新型インフルエンザ予防接種委託料 耐震補強工事設計委託料	
特別会計	国民健康保険	(7,204万8千円) 14億8,099万円	保険給付費支払準備金 国保税還付金
	後期高齢者医療	(12万2千円) 9,922万8千円	北海道後期高齢者医療広域連合負担金
	介護保険事業	(800万4千円) 6億9,858万4千円	生活・介護支援サポーター養成事業委託料
	介護サービス事業	(2,802万円) 2億8,645万7千円	特別養護老人ホーム施設改修工事
	簡易水道	(689万3千円) 1億8,913万6千円	西美里別地区配水管整備工事 配水管等施設修繕料
公共下水道	(66万9千円) 7億2,577万8千円	機器更新調査設計委託料	
水道事業会計	(95万1千円) 2億6,411万5千円	処理薬品費	
国保病院事業会計	(2,101万7千円) 16億7,186万1千円	診療材料費 新型インフルエンザ対策消耗品 新型インフルエンザワクチン 太陽の丘温泉水維持管理経費	

### 国民健康保険病院事業会計補正

#### 新型インフルエンザ

**問** 持病のない方も亡くなっているかと報道されているが、今後重症患者が出た場合の対応は。

**答** 国保病院で入院治療できる場合は対応し、脳炎などを発症した場合には、すぐに2次医療機関に緊急搬送することになっています。

教育委員会委員に

水谷令子氏（北3丁目）  
の再任に同意しました。

本別町副町長に

砂原 勝氏（南3丁目）  
の再任に同意しました。



泌尿器科外来の柴田医師

## 第3回臨時会

開催日 7月30日

### 条例改正

**国民健康保険病院事業の設置及び管理に関する条例の一部改正**

国保病院の診療科として、新たに、9月から整形外科、10月から泌尿器科を開設するための条例改正に対する質疑。

「整形外科は週1回午前、泌尿器科は月2回午後の診療となります」

**問** 病院事業の赤字が増加するなか、診療科を増設することでの収支見込みは。

**答** 新設科では、経費と比較して若干収益が上回るという想定をしていますが、病院を存続させていくためにも、新たな専門科の設置を進めるとともに、収支のバランスを考えた経営を進めていきたいと考えています。

**障害者地域生活支援事業条例の一部改正**

国の施行令の一部改正により、資産要件が廃止され、資産の有無にかかわらずサービス利用者負担の軽減措置対象となったことによる町条例改正に対する質疑。

**問** ①今回の改正で、軽減対象者は増えたか。  
②町民税非課税世帯も一部負担となっているが、町単独で利用料を補助する考えは。

**答** ①2名の方が、新たに軽減の対象となりました。  
②国の制度の中で対応していきたいと考えています。

### 一般会計補正

**国の経済対策で地域活性化を**

**問** 国からの臨時交付金を活用した事業が予算計上されているが、どのように地域経済に波及させる考えか。

**答** できるものは基本的に地元の業者で対応すること、事業の早期発注に

最大限努力していきたいと考えます。

**子宮頸がん・乳がん検診**

**問** 受診無料クーポン券発行の内容は。

**答** 子宮頸がんは20歳から40歳、乳がんは40歳から60歳のいずれも5歳間隔（前年度の年齢）で対象者を設定し、3月末まで帯広の医療機関でも受診できる無料クーポン券を送付しています。

**道の駅トイレ**

**問** 現在、旧本別駅の道の駅トイレは、和式のみとなっていて、子供が利用しにくいと聞かれます。

**答** 男女とも多目的トイレは洋式となつていますが、今後検討します。共栄に建設する観光情報センターは洋式トイレも設置します。



11月14日にオープンした観光情報センター

### 議員定数・報酬結論

議会の活性化等調査特別委員会と、3つの部会はこれまで計53回にわたり会議を開催し、定数・報酬と議会の活性化について検討してきました。12月定例議会に中間報告（定数・報酬）を提出する予定です。

詳しい内容は12月1日発行の「まちづくり速報版No.4」をご覧ください。

次の定例会は

# 12月8日から

## 予定しています

私たちの住むまちの議会です  
どなたも自由に傍聴できます  
あなたも傍聴してみませんか

# 平成20年度 決算審査特別委員会

## 一般会計など10会計の決算を認定

10会計の総支出額は1118億9千6百万円、一般会計は前年比5億7千1百万円減の67億9百万円で認定  
 第3回定例会で付託された平成20年度各会計決算審査特別委員会（小笠原良美委員・13名）は11月2日、4日に開催し、8名の委員から53項目の質疑があり、審査の結果、10会計の決算を認定しました。主な審議内容は次のとおりです。

### 一般会計

#### 職員派遣の効果は

**問** 文部科学省へ1年間、職員1名を派遣しているが、その効果は。

**答** ただ単に知識を得るだけではなく、文科省で行っている先駆的な事業や、本町に取り入れるべきものの情報を得るなど、目的は達せられていると思います。

#### 元気まち推進事業の検証

**問** ①この事業の費用対効果の検証はどのよう把握しているのか。  
 ②現在、活用している道の補助は21年度までだが、



元気くんデパートで豆の量り売り

その後の計画は。

**答** ①売り上げは少しずつ伸びています。が、本別の豆のブランド価値を高めていくことを目的としており、結果がすぐに出るということではないと考えます。

②現在は、豆を中心とした商品開発やパッケージデザインなどを行っています。道の補助終了後も、町

単独でPRなどの支援をしていきたいと考えています。しかし、本町は豆以外にも様々な特産品があり、新しい展開が必要かもしれません。また、行政と民間事業者との役割分担のあり方も、検討していきたいと思っています。

#### 銀河線旧駅舎周辺整備

**問** 農産物加工施設の建設は、管理運営の具体的検証の必要性和道の駅開業により先送りとなっているが、その後の経過と考え方は。

**答** 道の駅周辺の活性化と農業、商工業振興の拠点施設となるような農産物加工施設の建設を計

画していましたが、休止している共栄の開発センターと新町にある農協の施設との調整も必要と考えています。また、町民や関係団体の意見を聞き、十分協議しながら検討していきます。



休止しているふるさと産業開発センター

#### 土づくり奨励特別事業

**問** 土づくり補助の取り組み評価と今後の対応は。

**答** 農協の営農部と協議しながら実施しています。予算計上した事業量より、希望地や量が少ないですが、良質な有機物資材の投入を促進させ、畑の地力向上が図られたと考えています。

#### 世代交流館・勇足いきがい館の運営

今年の天候不順を受け、非常に土づくりが大事であると認識しており、さらに農協との協議を進めていきます。

**問** モデル事業などを行う上で、町からの委託料だけでは運営が大変厳しいという地域の不満を把握しているか。

**答** 町内会の集会施設は基本的に自主管理をお願いしています。ただ、複数の自治会で使う施設や、モデル事業を行う施設については委託料として補助しており、他の施設との関連も検討しながら、見直していきます。



南4丁目 世代交流館

## センサー緊急通報システム

### 問

① 人感センサーシステムの稼働状況は。  
② 今後、設置を希望される方にも無料で行うのか。  
③ 自治会や民生委員以外に、利用している方を知らせる考えはないのか。

### 答

① 21年3月までに、7名の方が病院に搬送されました。徘徊の通報があった場合は、地域の方や家族に連絡をしながら対応しています。

② 20数台在庫があるので、利用が適当と判断されれば無料で貸し出しを行います。今後も補助制度などを調査しながら進めていきます。

③ 安否確認などを行うためにも、近所の方には支援役をお願いしていますが、自治会やネットワーク役員の方には知らせる必要がありません。

ると思いますが、この体制をとつていきます。

居間に取り付けられた人感センサー

## 資源ごみ回収

### 問

資源ごみや埋め立てゴミの回収が、祝日の多い月曜日になつている地区では、保管が大変なため、曜日の変更はできないか。

### 答

3町で搬入順などを含意して収集しているため、曜日の変更は難しい状況です。しかし、ゴミの量をふまへながら、他町と調整をしていきたいと思えます。

## 本別高校の教育を考える会

### 問

町からの補助で、本別高校の存続や間口維持への効果は。

### 答

子供たちの学力向上、進路対策については一定の成果があると報告を受けています。道立高校ではありますが、町立と同じような考えで、本別高校を支援していきたいと考えていますし、PTAなど各団体と連携を取りながら進めていきたいと思えます。

## 国民健康保険特別会計

### 特定健診

### 問

特定健診の受診目標(850名)に対する結果は。

### 答

2,144名の対象者の内、504名の受診があり受診率は23.5%になる見込みです。未受診者の世帯には、チラシや電話等で呼びかけをしようと考えています。



「う〜ん…」

## 介護保険事業特別会計

### 認知症家族を支えるために

### 問

認知症患者やその家族を支援するために地域の理解をどう深めていくか。

### 答

認知症は病気だということを家族、地域に理解してもらうことが重要です。さらに、地域が一体となって見守っていく体制を作れるよう、支援員、サポーター、民生委員などの役割分担もこれから整理していきたいと考えています。

## 介護サービス事業特別会計

### 老人ホーム入所待機者

### 問

施設入所待機者数と、その対応状況は。

### 答

入所申込者は122名いますが、町内外複数の施設へ申込みしている方もいます。その中でも入所の必要な方は5、6名と判断し、対応としては、ショートサービスを利用してもらうなど理解してもらっています。

## 国民健康保険病院事業会計

### 病院機能評価

### 問

道内で唯一、病院機能評価の受診をしているが、その概要と結果は。

### 答

医療と職員の資質向上のため、532項目の自己評価と調査員による評価を受けました。結果は、カルテと医師の確保について改善事項が示されましたが、他項目は一定のレベルに達しているという認定を受けています。改善事項についても、確認審査をクリアできる見通しですので、今後5年間の正式認定となる予定です。



国保病院 受付窓口

## 療養病床廃止の影響は

### 問

療養病床が廃止されたことで、いわゆる介護難民となるような状況はなかったか。

### 答

医療の必要な方は残れますし、介護難民となった例もありません。

# 一般質問

8名の議員から12問



## 政治・経済

**町民の自主的・主体的な活動に積極的な支援を  
答 町民の皆さんと情報を共有し、ともに行動します**



高橋利勝議員

**高橋議員** 高橋町政の4期目のスタートに当たって4点について伺います。

- ① 協働のまちづくりを進めるに当たって、町民の皆さんの自主的、主体的な活動の支援が不十分という声があるが。
- ② 農業を活用した、若い人々のニーズに応えるような仕事づくりはできないか。
- ③ 新政権の誕生について、どのように受け止めているか。
- ④ 改選に当たって、町民の一部に多選を懸念する声があったが、どのように受け止めているか。

**高橋町長** ① 町民の皆さんと情報を共有し、共に行動して

いきます。

② 本別で頑張っていたけど若い人たちを何としても増やしたいと思っています。

③ 国と地方が対等な立場に立った目線で進められることを期待しています。

④ 心配いただくことを肝に銘じて、間違いない選択をしたなど言っていただけるよう気を引き締めていきます。



高橋町政4期目スタート（9月1日初登庁）

**季節労働者の職業教育を行政として推進すべきでは  
答 東十勝通年雇用促進協議会で取り組みます**



目黒金次郎議員

**目黒議員** 新政権は無駄な公共事業を抑制し、地球温暖化対策を推進するとして世界に約束しました。

① 太陽光発電事業、造林事業等を十勝一丸で推進すべきでは。

② 道の季節労働者対策として、失業給付一時金を50日にするよう政府に要請すべきでは。

③ 本別町の季節労働者対策については、22年度以降も本年と同規模の事業を実施すべきでは。

**高橋町長** ① 十勝一丸は難しいが、その方向で努力します。  
② 50日復活に向けて、国に要請を続けて参ります。

③ 22年度以降も実施できるよう努力します。



チェンソーの目立て作業講習会

**目黒議員** 建設業者などを中心に、将来に向けて太陽光発電事業、造林事業の業者育成、労働者の技術者養成を行うべきだと思います。

**高橋町長** 現行業者で十分対応できていると考えますが、意欲があり、参加したいと考える業者に対しては協力体制をとります。

労働者の技術者養成は、**東十勝通年雇用促進協議会**での取り組みを支援します。

### 東十勝通年雇用促進協議会とは

陸別、足寄、本別、池田、豊頃、浦幌の6町で構成し、季節労働者の通年雇用化のため、業者訪問やパンフレットの作成、セミナーの開催、労働者の有資格講習等に助成を行っています。



ものしり博士から

# 新政権に対する地方自治体としての対応は

## 答 地方主権の確立と積極的な情報発信が必要



阿保静夫議員

**阿保議員** 民主党中心の鳩山内閣の誕生は、大きな歴史の流れの中で時代が動いていると共に、地方自治体と国政との関係にも、大きな変化が生まれることになるものと考えます。

特に近年、後期高齢者医療

始め、国民生活に大きく影響する制度の新設、改正が行われてきましたが、新たな政権は、それらの多くの改廃を公約、農業分野でも、戸別所得補償制度に転換するとしています。

国政に、地方の情勢を反映させるような、積極的な働きかけが非常に重要だと考えますが、見解を伺います。

**高橋町長** この政権を国民が選択したのは事実です。

特に「地域主権の確立」に期待するところですが、我々も既成概念からの意識改革が必要と考えます。

制度を地方に合ったものにするように情報発信、積極的なアプローチが必要になると考えます。また、制度変更は、混乱のない移行が絶対必要だと考えます。



新政権で町づくりは？



# 観 光

## 本別公園、ビオトープで整備を

### 答 土木現業所へ復元を要請します

工的に作る自然生態系」の考え方や手法を取り入れ、児童の学習の場などにも活用するなど整備していく考えはないか。

また、サイエンスクラブや理科、生物学関係者などの意見も参考に、整備を進めてはと考えますが見解を伺います。



改善が待たれるヒョウタン池

**高橋町長** ビオトープの考え方で、平成9年から土木現業所に造ってもらったのが当初の池ですが、現状は指摘のとおり変化しています。

知識のある方の意見を伺いながら、土木現業所に当初の目的どおり復元するように要請していきたいと考えます。

**阿保議員** 本別公園内のかぶと池の流末にある「ヒョウタン池」は、水がよどんでおり、現在、非常に汚れている状態です。

これを改善し、公園にふさわしいさわやかな水辺を形成するために「ビオトープ（人

# 福祉・暮らし

## 来年度に向けてのマイマイガ対策は

**答** 卵塊の除去・駆除を緊急雇用対策で取り組んでいきます

**高橋議員** マイマイガの大量発生は来年も懸念されています。そこで、その対策について4点伺います。

- ① マイマイガの生態、また大量発生について、どのように把握されているのか。
- ② マイマイガ対策として、街路灯の減灯、照明器具の変

更、外灯の消灯を実施してきましたが、経過と今後の対策は。

- ③ 成虫の駆除、卵塊の除去に対する取り組みは。
- ④ 町外から多くの人が訪れるパークゴルフ場、本別公園等の卵塊の除去、駆除の取り組みは。

### 高橋町長

① マイマイガは本来、山林の中にあるものだと思います。それが温暖化等により、街の中でも大量発生したと考えられます。

② 街路灯への発光ダイオードの導入について、自治会と十分協議して進めていきます。

③ 成虫の駆除については関係機関と協議して、卵塊の除去については、緊急雇用対策で取り組んでいきます。

## 新型インフルエンザの今後の対策について

**答** 妊婦等の予防接種に町独自で半額補助を



戸田 徹議員

**戸田議員** ① 小学校、中学校、保育所の具体的な対策と保育所閉鎖の考え方は。

② 老人ホームの対策と予防接種の対応は。

③ 医療従事者は何名か。また、妊婦及び基礎疾患を有する人は何名を想定か。

④ 幼児（1歳から小学校低学年）及び1歳未満の子供の保護者等は何名を想定か。

⑤ 予防接種希望者に対する、町独自の負担軽減対策は。

⑥ 重症化が想定される患者の対応は。

### 高橋町長

① 各種適切な対応により、幼児の健康観察及び連絡体制を徹底します。また、保育所の

閉鎖はしない方向です。

② 常日頃、感染予防対策に取り組んでいます。

③ 医療従事者は113名、妊婦は24名、基礎疾患を有する方は600名と想定しています。

④ 1歳から小学3年生まで462名、1歳未満の保護者84名を想定しています。

⑤ 妊婦、1歳から小学生まで半額を補助したいと考えています。

⑥ 各機関の指導で対応します。



議員会で通学路のマイマイガ卵などを清掃



国保病院 発熱外来



## 地域福祉活動の推進について

【答】財源について支援できるよう努めたい



黒山久男議員

**黒山議員** ①福祉活動は多岐にわたり活発化しています。財政面や活動面でどのように後方支援を図っていくのか。

②福祉でまちづくりと言うが、そのようになっていないのではないかと考えますが、どのように受けとめているか。

③福祉や防災活動の取り組みには、行政と各自治会が一体となった取り組みが必要と思われま。課長級の職員を各自治会に張り付けし、地域と連携を図ってはと考えますが見解を伺います。

**高橋町長** ①行財政改革を着実に進める中で、少しでも財源を捻出し、自治会活動をは

じめとする皆さんの自主的、主体的な活動に対し支援できるように努めます。

②情報の共有化を図ると共に、お互いに抱えている悩みなどを率直に意見交換し、今後さらさら福祉でまちづくりを推進します。

③職員については、居住地の自治会での活動参加が基本と考えています。より一層自治会活動への参加、地域への参加を促していきたいと考えています。



柏木町 介護予防教室

## 定住団地、発想の転換で推進を

【答】移住促進と共に、柔軟な対応も考えたい

**阿保議員** 勇足定住促進団地

は5年目の現在、12区画中2区画の売却にとどまっていますが、次について見解を伺います。

①売却が進む可能性として、団地の世代の退職時期に期待するところがあるとの見解も示されていましたが、現時点での見解は。

②当初の「移住、定住対策」というニーズ（要求・希望）は、時代と共に変化しており、今後、柔軟な対応も必要ではと考えますが。（町外からの移住よりも町内在住者の定住、短期的居住、賃貸住宅や販売など）

**高橋町長** ①経済の落ち込みから団塊の世代も含めて売却が進んでいない現状です。今は

移住対策に力を入れています。

②いろいろなニーズ、情報収集、PRなど定住促進の努力を続けたいと考えます。

補助事業としての当初の目的を逸脱しないで、柔軟な対応も考えていきたいと思いません。



2区画売却された勇足定住促進団地

# 農業

## 農業振興と冷湿害対策について

答 基本構想に基づき進め、農協と連携して対応する



方川一郎議員

**方川議員** ①農業振興については、施政方針で町長の考えが述べられました。具体的にはどう取り進めていくのか。  
②今年の冷湿害で、農業は甚大な被害を受け、平年作を大きく下回っています。今年の収支と来年の再生産に向けての対策をどう図っていくのか伺います。

**高橋町長** ①農業の基本である土づくりを強化し、農家子弟の教育支援や新規参入者の受け入れ体制のシステム作り、北海道立農業大学校との連携強化や、新規参入者向けの研修施設等の整備を検討していきます。

土地基盤整備は、平成23年度着工を目指し、暗渠排水等、1,293haを予定し、小回りのきく小規模土地改良事業の対応も考えています。基本的には農業基本構想に基づいて着実に進めていきます。

②天災融資法の発動は、道や道信用農業協同組合連合会等の情報によると、難しいとのことです。

現在、農協で農家の聞き取り調査を行っていますので、作業が終了後、連携し対応策を取り進めていきます。



砂利暗渠の施工

## エゾシカによる被害防止対策は

答 農業者の要請に応え、適正な駆除に努めます



小笠原良美議員

**小笠原議員** エゾシカによる被害、踏みつけなどの被害が深刻化しています。現状と今後の対策について伺います。

①平成18年度から20年度までの、農作物被害額とエゾシカ駆除頭数は、  
②未整備地区への鹿柵設置と、すでに設置されている柵の点検修理、狩猟や駆除による頭数調整が求められています。考え方と対応は、  
で、駆除頭数は18年度40頭、19年度23頭、20年度39頭です。  
②有害鳥獣被害防止計画を策定し、承認されれば、22年度からその事業にのって、未設置部分に柵を設置します。  
猟友会を含む関係団体と協議し、適正な駆除の条件を整理、農家の方々の意向にそえる計画書を作成します。

**高橋町長** ①農業者からの報告で、農作物の被害は18年度約703万円、19年度1,090万円、20年度1,774万円



山手町の民家横に現れたエゾシカの群れ

## 冷湿害対策について

**答** 農協と協議し、必要な支援策をとっていく



山西二三夫議員

**山西議員** ①今年の長雨の中でも、基盤整備や土づくりの違いで収量の差が出ています。今後町では、基盤整備にどのような計画を持っておられるのか。

②農家の方々の年末整理、来年の営農計画も厳しさが考

えられ、営農支援策として緊急対策資金等、町として、一部利子補給は考えられないか。種子量の増と価格の高騰による、農家負担軽減のための助成は考えられないのか。

**高橋町長** ①全農家に道営畑総事業の聞き取りを実施した結果、1,293 haの基盤整備の希望がありました。基盤整備、土づくりをより一層促進していただきたく、今年も明渠排水の土砂上げ修繕を順次行っています。

②今後の対策と支援であります。農協並びに関係機関も含め、しっかりと協議をし、支援策を取りまとめたいと思います。種子の問題等も必要とあれば対策を取っていくところでありたい。



雨水で浸った小豆畑（上押帯地区）

## 長雨被害と農家支援対策、農業振興は

**答** 有材心破など積極的な事業参加を期待したい

**阿保議員** 本年春からの長雨・日照不足の影響に対する、今後の対策等について伺います。

①農業振興基金（1,000万円）の活用についての考え方は。

②排水性改善の心土破碎は安価で効果的。振興基金活用を含め支援の考えは。

③総合計画記念講演会で、「農業を基礎にしたまちづくりが必要」とのことですが、以前提案した新作物の研究、若い農業者への期待などに関連させながら進めていく必要があると考えますが。

**高橋町長** ①基金は積み上げて果実運用を基本に考えています。また、大事なことは、少しでも利益が出た時に、財政出動ができる体制作りが必要だと思えます。

②さらに有効なのは有材心破です。多くの農家が事業参加していただきたいと思えます。

③「農業を大事にしてまちづくり」の理念は変わりません。2次加工含め、今の取り組みの輪を広げたいと考えています。



緑肥のすきこみ作業

# 意見書

第3回定例会に提出された意見書案2件は原案どおり可決され、内閣総理大臣、国土交通大臣など関係機関へ送付しました。

## 【要旨掲載】

### 道路の整備に関する意見書

今後の道路整備は、国、地方など適切な役割分担のもと、必要な予算を確保し、早急に推進することが重要です。  
そのためにも、救急医療、観光、災害対策など地域への多様な効果を総合的に評価し、整備中区間の早期供用を図るとともに、抜本的見直し区間の早期事業化を図ることなどを要望します。

提出者 方川一郎



### 日本農業の崩壊につながる日米FTAに反対する意見書

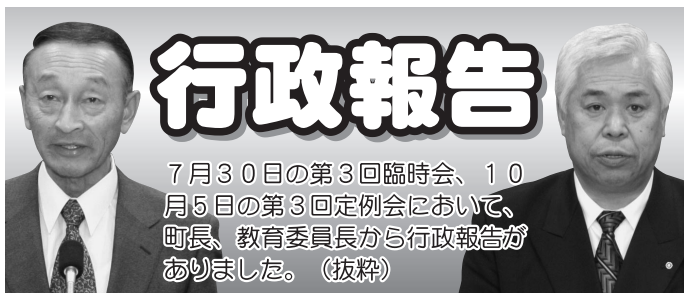
日米FTA（自由貿易協定）が締結されれば、日本農業の土台を支えるコメを始め、北海道の農業生産も大きく減少し、壊滅的な打撃を受け、日本農業の崩壊につながると考えられることから、日米FTA締結は行わないよう求めます。

提出者 阿保静夫



## 行政報告

7月30日の第3回臨時会、10月5日の第3回定例会において、町長、教育委員長から行政報告がありました。（抜粋）



### 第3回臨時会

#### 町長

### 第2弾プレミアム商品券を実施

本年3月に愛町購買と景気対策を目的として実施し、一定の経済効果があつたことから、第2弾のプレミアム商品券の販売を実施します。10月に販売し、有効期限は12月末までです。

#### 教育委員長

### 国際交流事業の今年度中止

平成4年度から、姉妹都市オーストラリアミツチエルへ、本町中学生と本別高校1年生を派遣しておりましたが、世界各国で新型コロナウイルスエンザが大流行していることと、国内患者数の増加などをふまえ、今年度は中止とすることを決定しました。今後は、状況を見極めながら、来年度以降の実施を視野に、本年度参加対象者にも平等にできるよう検討していきます。

### 第3回定例会

#### 町長

### 定額給付金事業の状況

住民への生活支援を目的として、3月から実施してきましたが、給付決定済み件数は3,914世帯、給付金額は1億3,600万

4千円で、99.7%の支給率となっております。

### 新型コロナウイルスの流行と対策

公共施設、学校などに消毒液を配付し、町広報紙などで情報の周知を行ってきましたが、冬季を迎えるため、各家庭でも、更なる予防の徹底をお願いします。また、新型コロナウイルスの接種も含めた、感染予防対策に取り組みます。



新型コロナウイルス ワクチン

### 常勤医師確保について

11月から、新たな常勤内科医師として、竹本尚史医師を迎えました。



新しく着任した竹本医師

竹本医師は、消化器はもちろん、内科一般を幅広く診ることができる医師であり、町民のかかりつけ医として活躍いただけることを期待しています。

### 農作物の冷湿害状況

5月以降の長雨により、大豆を除く多くの作物で「不良」との作況調査結果が出されています。

このような状況の中、本年の農作物収入は平年を大きく下回ることが予想されるため、町としても農業団体、関係機関と協議する中で、対策に万全を期していきたいと思えます。

# 委員会レポート

## 総務

### 常任委員会

調査日 平成21年9月8日

#### 新しい学習指導要領に対する対応について

平成21年度より新学習指導要領への移行期間に入り、小学校が23年度から、中学校が24年度から、新学習指導要領の全面实施となります。算数・数学及び理科は教材を整備して前倒し実施していきます。



仙美里小学校5・6年生の英語活動

主な改善事項と取り組み  
①言語活動の充実

各領域・各教科でコミュニケーション能力を高める学習指導の工夫改善を行います。

②理数教育の充実

実験や観察などを重視し、体験活動を取り入れた科学的な能力の育成に務めます。

③伝統文化に関する教育の充実

地域の文化活動に関心を高めるよう、武道などを取り入れ、音楽科では和楽の学習にも力を入れます。

④道徳教育の充実

道徳的実践力の育成を図る取り組みを手がけています。

⑤小学校での外国語活動

5・6年生では、全面实施に向けて、今年度から英語活動を始めています。

教育委員会としては、移行措置の徹底を図るための教育条件の充実として、副読本の更新などを行っています。

ます。また、各学校の学力向上対策と理数教育の充実を目的として、退職教員等外部人材活用事業を本年度から実施しています。

#### まとめ

全面実施に向けては、教育委員会、各学校、家庭、地域が一体となった取り組みが必要です。また、目まぐるしく変わる教育施策や

学力低下への対応等、時代の変化にすばやく対応できない課題もありますので、課題を全て洗い出し、その解決に向けて一層努力していただきたいと思えます。

この他に、子供の安全対策についても調査しました。

## 住居再生 常任委員会

調査日 平成21年9月11日

#### 勇足定住促進団地の現状と今後の対応について

①団地整備の経過と取り組み

平成17年に着工し、同年

9月に竣工。事業費40,048千円で、うち国補助費15,755千円、過疎債11,400千円、簡易水道債1,000千円、町費11,893千円です。

②概要 区画数は12区画、一区画当たり面積は、168坪から198坪で、平均坪単価は7,000円です。

③売り払い 平成17年と20年にそれぞれ1件ずつ販売です。

④今後の対応

移住、定住対策として、お試し暮らしプログラムを実施、平成19年以降9件30名が参加、うち1名が移住、二地域居住者（本州に家を所有し、将来は本別に住みたい）が1戸数名、移住予定者2戸数名。

町ホームページでの空き家（空室）情報発信や、ラジオ出演でのPR、北海道移住促進協議会への加入な



勇足定住促進団地のPR看板

どにより、勇足定住促進団地も含め、広く本別町をPRしています。

#### まとめ

現在の取り組みは、他の地域から移住し定住してくる人を求めています。が、町内にもニーズがあるので、はないかと思えます。

PRと発想の転換を図りながら、全区画が完売されるよう、なお一層の努力を期待します。

この他に、商工振興対策についても調査をしました。

# 厚岸町・西興部村研修

## 議会運営委員会

調査日 平成21年8月10日～12日

〔釧路支庁管内 厚岸町〕  
議会運営・議会活性化について

厚岸町議会は現在、定数16名、3常任委員会で構成され、議長も委員会に所属しています。

平成19年度に実施した、産業建設常任委員会の、道外先進地行政視察では、議会への報告書提出後、役場関係課等職員に対して、説明報告会が行われました。また、平成20年度に行われた、厚生文教常任委員会の道内先進地行政視察で



厚岸町議会 議場の見学

は、議会への報告書提出後、住民に対して説明報告会を行い、約100名の町民が参加しました。

所管事務調査を行うための申し出は、所管する全ての項目を設定し、緊急の場合についても調査活動ができるようにしています。

また、厚岸町議会では、議会基本条例がなくとも議会、議員がその活動を住民に知らせ意見を聞くということは本来の責務と考え、住民にとつてどのような活動が必要か検討しながら、取り組むこととしています。

### まとめ

常任委員会の行政視察結果を、町職員や町民を対象として報告会を開催したり、所管事務調査を、緊急な場合にも直ちに取り組めるようにしているなど、本別町議会活性化議論にも大変参考になる研修でありました。

また、西興部村議会でも同様の項目で視察を行いました。

西興部村では、村全戸を光ファイバーで結び、定例会と予算特別

## 十勝議員研修に参加



10月8日、幕別町において開催された十勝町村議会議員研修会に参加してきました。

講師は、元新聞記者でジャーナリストの浅野詠子氏で、「住民派議員の条件～分権時代の議会改革」と題し、議会の改革及び議員自身の改革、また、議会として執行機関を監視していく視点から、事例を通じた講演がありました。



西興部村マルチメディア館 放送室

委員会を生中継で各家庭へ放送しています。他にも、コミュニティ放送や防災、緊急放送等に広く活用され、高齢者にも優しいIT化が図られていました。

### 議会用語の解説

#### 《所管事務調査》

議会の常任委員会がおこなう調査活動で、町の事務に関する調査及び議案、陳情等の審査を行います。

この調査は常任委員会の固有の権限です。本町議会には産業厚生と総務の2常任委員会があり、それぞれの担当分野に関する町の事務について、担当課より説明を受け、調査しています。主に定例会から定例会の間に実施しており、各議員はこの調査を参考に、一般質問などを行っています。

# 写真で見る議員活動



圃場作況調査 8月27日



議会広報研修会（札幌市）8月18日



占冠村議会視察来町 10月21日  
本町の議会活性化の取り組みについての研修



美深町議会視察来町 10月21日  
高齢者福祉政策について研修した後、地域共生ホームきらりを見学



水源地の森林を造り育てる集い 10月21日



議員全員で、町民の森と本別公園上流のゴミ拾い  
11月9日



人の波運動 10月21日



質問の内容、より一層良くなったと感じた



南3丁目 金子荘一さん

「3年前の一般質問から見ると内容も含めて随分良くなっていくなあと感じました。以前は「町民の方がこう言っていた」というのを根拠としていたが、今回は「自分の考えは」と変わったような気がします。」

また、議場の中の、議員の態度についても、「真剣さが見られて良かったと思う」と好意的な印象を語ってくれました。

議会の定数・報酬等について聞くと、「今、難しい時期にあり、議員活動の必要性もあり、大幅に定数を減らすことが、町民の利益になるとは考えられま

今回、議会の傍聴が4、5回目とおっしゃる金子荘一さんにお話を伺いました。

現在は、南3丁目自治会長と本別消防団後援会会長の公職を持ち、多忙な日々との事。

この合間に「孫の瑞桔（みずき）ちゃんの顔を見るのが楽しみ」と笑顔で答えてくれました。

「若いときは山登りに熱中したり、読書が趣味でしたが、年を取ってくると根気がなくなってきた。想像以上のゴミの量に大変驚き、町民と共に、本別町よりゴミの不法投棄をなくしたいなと感じました。今後よろしくお願いいたします。」

広報委員 三好喜美雄

## 議会日誌

### 〔 7 月 〕



- 9日 議会活性化部会、広報広聴部会
- 13日 議会広報特別委員会
- 14日 議会の活性化等調査特別委員会  
広報広聴部会
- 17日 議会広報特別委員会
- 28日～29日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会札幌・中央要望第3回臨時会、議会の活性化等調査特別委員会、議会運営委員会、議会広報特別委員会

### 〔 8 月 〕



- 7日 町民懇談会（町体育館、仙美里農業担い手センター）
- 8日 町民懇談会（勇足地区公民館、美里別地区公民館）
- 10日～12日 議会運営委員会行政視察研修（厚岸町、西興部村）
- 17日～18日 議会広報研修会（札幌市）
- 18日 マイマイカ駆除ボランティア作業
- 26日 広報広聴部会
- 27日 圃場作況調査
- 28日 十勝議長会議長研修会（大樹町）

### 〔 9 月 〕



- 2日 広報広聴部会三役会
- 4日 議会活性化部会、広報広聴部会  
企画調整部会
- 8日 総務常任委員会所管事務調査  
議会の活性化等調査特別委員会  
産業厚生常任委員会所管事務調査
- 11日 広報広聴部会、道議会農作物調査  
池北三町行政事務組合議会臨時会
- 24日 企画調整部会
- 25日 企画調整部会

### 〔 10 月 〕



- 1日 議会運営委員会
- 4日 帯広市本別会（本別町）
- 5日 第3回定例会開会、議員協議会  
議会の活性化等調査特別委員会  
十勝議長議員研修会（幕別町）
- 8日 議会運営委員会
- 9日 十勝議長役員会（帯広市）
- 13日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（議案審議）、議会の活性化等調査  
特別委員会、議会広報特別委員会
- 15日 本会議（決算説明）
- 16日 産業厚生常任委員会決算勉強会
- 19日 美深町議会視察来町、占冠村議会視察来町、  
議会活性化部会、第9回本別町の水源地の  
森林を造り育てる集い（育樹祭）
- 29日 総務常任委員会決算勉強会第2回定例会、  
十勝圏複合事務組合議会第2回定例会
- 30日 十勝環境複合事務組合議会第2回定例会

### 〔 11 月 〕



- 2日 決算審査特別委員会、広報広聴部会  
決算審査特別委員会、議会広報  
特別委員会
- 4日 特別委員会
- 9日 議長との対話室、議会の活性化  
等調査特別委員会、企画調整部会、  
ゴミ拾いボランティア作業

## 編集後記

▼議会の活性化にあたり、アンケート及び懇談会での町民の意見を基に、定数・報酬について、議会として12月までに中間報告を出す予定であります。議会の役割に対して、町民と今以上にお話をしていきたいと思えます▼今年の長雨による被害について、議会としても作況調査を実施いたしました。全ての作物の生育が悪く、農家の方々は大変なことと思います。議会としても行政に働きかけ、対策を立てていきたいです▼11月9日に議員全員で、本別公園上流と町民の森のゴミ拾いを実施し、トラックいっぱいに拾ってきました。想像以上のゴミの量に大変驚き、町民と共に、本別町よりゴミの不法投棄をなくしたいなと感じました▼今後よろしくお願いいたします。